

かいご なん はな ざいにちがいこくじんかいごしょくいん ば
介護のこと何でも話そう(在日外国人介護職員のおしゃべり場)

CTR (Care Talk Room)

にほん がいこくじんかいごしょくいん みな あつ
日本にいる外国人介護職員の皆さん、Webで集まりましょう！

みな しゅやく かいご しごと かいご ぎじゅつ
皆さんのが主役になり、介護の仕事をするなかで、介護技術に

かん ぎもん ちしき じゅう はな あ
に関する疑問や知識を自由に話し合いましょう。

にちじ 日時 : まいづきだい どようび じ じ
毎月第3土曜日 20時~21時

だいごかいめ 第5回目 2025年3月15日



ほうほう 方法 : ZOOMでオンライン開催

さんかしゃ はな あ なまえ ひょうじ がめん
※参加者で話し合うプログラムのため、名前の表示と画面ONを
ねが お願いします。

たいしょうしゃ 対象者 : にほん こうれいしゃ かいご しごと がいこくじん かた
日本にいる高齢者介護の仕事をしている外国人の方
にほん こうれいしゃ かいご べんきょう りゅうがくせい かた
日本にいる高齢者介護の勉強をしている留学生の方
じょうき かたがた かか にほんじん かた だいかんげい
(上記の方々と関わりたい日本人の方も大歓迎！)

さんかひ 参加費 : 無料

もうしこみ 申込 : 3月14日までに、もうしこみしてください

<https://forms.gle/bdsDZUYn9kh9Zd6q8>

もうしこみ まいかい
申込フォームは毎回おなじです。

とくていん 特典 : せつきよくてき さんか がいこくじん かた とくていん
積極的に参加する外国人の方に特典があります

いっかい さんか はつげん たい てん
※一回の参加と発言に対してポイント1点をゲットします。

ねんかん かい かいさい さいだい てん
※年間12回の開催があり、最大12点がゲットできます。

ねんかん じょうい がくしゅうしりょう こくさいじぎょうぶ けんしゅうわりびき ていきょう
※年間のポイント上位3名に学習資料、国際事業部の研修割引などを提供。



ねんかんかいさいよてい
年間開催予定

ひづけ 日付	ないよう 内容
2024.11.16	ようつうよぼう 私の腰痛予防のコツは……
2024.12.21	いどういじょう 私の移動移乗のコツは……
2025.1.18	こういかいじょ 私の更衣介助のコツは……
2025.2.15	せいしきかいじょ 私の清拭介助のコツは……
2025.3.15	こえ 私の声かけのコツは……
2025.4.19	き 私の聞きたいテーマは…… (第1弾)
2025.5.17	にんちしょう 私の認知症ケアのコツは……
2025.6.21	かいじょ 私のトイレ介助のコツは……
2025.7.19	しょくじかいじょ 私の食事介助のコツは……
2025.8.16	かんきょうせいび 私の環境整備のコツは……
2025.9.20	きろく 私の記録のコツは……
2025.10.18	き 私の聞きたいテーマは…… (第2弾)

にちじ　ないよう　ぱあい　へんこう　かのうせい
※日時や内容は、場合によって変更する可能性があります。

第2回(12/21) テーマ:移動・移乗介助のコツは

参加者:外国人4名(中国、インドネシア、ミャンマー)、日本人2名

現場で感じている率直な意見として

- ・スライディングボード、リフトを使用したり、利用者の力をいかして移乗介助をしたいが、現場では時間がなく、抱える(全介助)の介護をしてしまっている。
- ・来日してまだ期間が短く、日本語も不十分なため、利用者への声かけが難しい。母国で事前に学習した介助方法と日本の職場での介助方法が違うので、とまどっている。

などの声があがりました。

それらに対して、参加者がそれぞれの経験もとに

- ・移乗介助の基本はボディメカニクスなので、しっかり学んで介助することが重要。
- ・利用者を無理に動かそうとせず、リラックスしてもらう。利用者に同じ意識をもってもらうことで介助することが大切で、そのためには声かけが重要。
- ・認知症の利用者の介助について、先輩から「もっと利用者とコミュニケーションをとって、関係性を作つて介助をすること」を教えてもらった。

などの意見交換をしました。



第3回(1/15) テーマ:更衣介助のコツは

参加者:外国人4名(中国、インドネシア、ミャンマー)、日本人4名

グループホームで働く介護職員から、着替えの支援で困っている利用者(「着替えの声かけがうまく伝わらない」「体が固くて介助が難しい」「本人が動ける時もあるが、縮こまつて動かない時がある」)について質問があり、アドバイスや情報交換を行いました。

— すぐ着替えの介助をするのではなく、コミュニケーションをとつて本人の気持ちをやわらげてから声をかける。

— 認知症の人は不安、緊張している。介護者から指示ばかりされると嫌になる。日本にきたばかりで不安な時に、どのような日本人が安心できた人かを思い出してほしい。日本語を不十分でも話をよく聞いてくれた人、自分のことを認めてくれた人だったと思う。そのように認知症の利用者に接してみてほしい。

— 本人が着替えたい服はあるか、着替えたいような状況になっているかを考える。

主催:(公社)東京都介護福祉士会 国際事業部

といあわせ:kuramotokoji@gmail.com 蔵本(くらもと)